

平成 29 年度 公益社団法人 全国大学保健管理協会中四国地方部会
保健・看護分科会運営会議（第 2 回） 議事要旨

開催日時：平成 30 年 2 月 9 日（金）11：30～15：00

場 所：岡山大学津島キャンパス 保健管理センター

出席者：代表世話人校幹事：森福（山口大学）、次期当番校幹事：松原（鳥取大学）、
書記：宮内（愛媛大学）委員：長廻（島根大学）、黒木（岡山大学）、杉原（広島大学）、
早渕（徳島大学）、泉（香川大学）、梅田（高知大学）、古武（広島修道大学） 計 10 名
欠席者：仁井（就実大学）委任状あり 計 1 名

議題

1. 第 48 回中四国大学保健管理研究集会保健・看護分科会勉強会について

次期当番校幹事の鳥取大学松原委員より、日程と保健・看護分科会の計画案について説明があった。

(1) 勉強会アンケート結果

①メンタルヘルス 22%（22 名） ②障がい学生支援 16%（16 名） ③健康保健教育 14%（14 名）

保健管理研究集会をコンパクトにすることで終了時間を早める提案があった。勉強会のアンケートで最も多かったメンタルヘルスとテーマも合致するため、メンタルヘルス講演会と勉強会を兼ねた内容で検討、対人援助職向けのメンタルヘルス、ストレスマネジメントを学べる講演会企画にした。初の試みとして実施し、アンケートで実施結果について問うこととなった。

(2) 勉強会日程

日時：平成 30 年 8 月 29 日（水）14：00～17：30

場所：白兔会館

内容：

14：00～14：45 保健・看護分科会運営会議

15：00～16：15 1 部 講演（メンタルヘルス講演会兼）

演題「対人援助職のためのメンタルヘルス～マイナス思考は怖くない（仮）」
鳥取大学大学院医学系研究科講師 竹田伸也先生（臨床心理士）

16：30～17：00 2 部 グループワーク意見交換

健康診断、日常ケア、メンタルヘルス、感染症、危機管理 など

17：10～17：30 保健・看護分科会連絡会

講演は 1 時間、質疑応答 15 分の予定。

グループワークのグループ分けについて、以下の提案・意見があった。

- ・高専が参加しやすいように高専のみのグループを作る
- ・国公立・私立で規模が異なるため同規模大学で集めてはどうか
- ・少人数でのグループワーク（6 人程度）
- ・司会は事前に指名、書記は当日決める

(3) 託児アンケートについて

鳥取大学松原委員より調査結果の説明があった。

全員が利用の予定はないと回答。意見・要望としては設置があれば助かるという意見や反対意見もあった。

今回の中四国保健管理研究集会では設置しないことに決定した。その旨、当番校が作成する第 48 回中国四国大学保健管理研究集会ホームページ上で周知することです承された。

(4) 本会について

資料に基づき日程及び講演の演題・講師等について鳥取大学松原委員より説明があった。

2.全国看護職代表者会議について

森福委員長より、全国看護職代表者会議設置に向けての経緯について資料に基づき説明があった。千葉大学吉田さん（全国看護職代表者会議の発起人）より、以下の3案のいずれかで意見をまとめて理事会へ回答したいとのことで意見を求められている。

- ①案 定款 38 条に基づき看護職の抱える課題や問題を解決するための委員会を作る。
- ②案 看護職の横の繋がり、ネットワークを整備するための自発的な新しい組織（連絡会など）を作ることは可能だが、全地区から代表者をだせない現状があるため難しい？
- ③案 協会組織とせず任意団体として活動していく

各委員より設置のメリットデメリット等について意見交換がなされた。その結果、中四国保健・看護分科会としては①案を選ぶことで意見が一致した。ただし、会の構成員としては現在評議員となっている看護職4名が担い、各地方部会はその会の下に位置付け、各地方部会の代表を通じて委員と相互にやりとりをするという形でお願ひすることです承された。

3.保健看護分科会ホームページについて

平成 29 年度活動計画を活動報告に変更して掲載（3 月）

平成 30 年度活動計画を作成（3 月）

リンク確認

交流の広場の原稿に関して、会員への募集を各委員に依頼した。

4.保健看護分科会調査について

来年度も調査を実施する。各大学に設置している機器で学生が自由に利用できるものについて（機器の名称・写真・設置場所・データ収集の有無等）調査を実施することです承された。

素案を宮内委員が作成し、早淵委員が各委員へ調査をかけることとなった。

5.その他

各大学間の情報交換を行った。

- ・災害時の保健管理センターの対応について
- ・欠席時の保健管理センターでの診断書・来室証明書発行について
- ・胸部 X 線の対象学年について（卒業予定の 4 年次に実施しているか）
- ・カウンセリングの予約について
- ・内科診察時の看護師の診療補助の有無について
- ・精神科診療時の薬の処方と外部医療機関への紹介について など